# 本機の操作ができなくなったときは

● 強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。

このときは、本体の電源スイッチを押して、一旦電源を切った後、 再度電源を入れてから、操作をやり直してください。

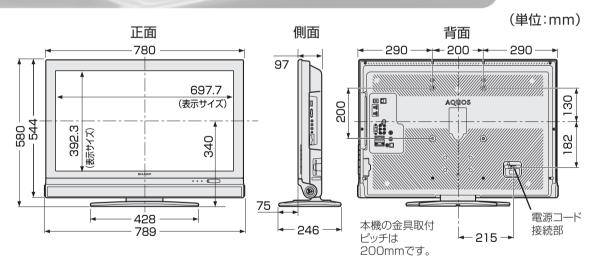
電源が切れないときや電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源スイッチを5秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、本体の電源スイッチを押して電源を入れたあと、再び操作をやり直してください。この操作をしてもチャンネル設定やメニューなどの設定項目は保持されます。

## 

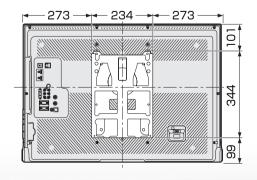
### おしらせ

再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

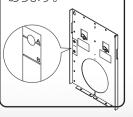
## 寸法図/壁掛け金具取り付け時の寸法



#### 壁掛け金具AN-37AG3使用時



壁掛け金具 AN-37AG3の壁用 金具には、画面の中 心を示す表示「B」が あります。



10°
63
177

壁掛け金具 AN-37AG3 の取扱説明書の適応機種には、 LC-32DH6 が記載されていませんが、ご使用できます。

## 壁に掛けて設置する

#### スタンドをはずす

● 別 売 の 壁 掛 け 金 具 (AN-37AG3) で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。(壁掛け設置のしかた(例) ▶ 171 ページ)

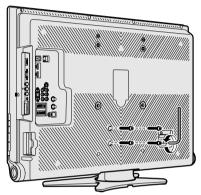
### 重要

- ・取付方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧くださ
- ・液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。

当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

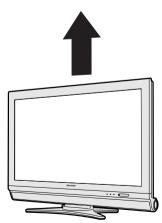
#### 準備する

- 接続しているケーブルは、接続先をすべてはずしておきます。
- ・はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- ・ はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。
  - 1 スタンドを固定しているネジ(4 箇所) を取りはずす



壁掛け金具を取り付ける

ディスプレイ部分を持ち上げて取りはずす



- 液晶パネルに強い力がかからないように持ち 上げてください。
- 必ず2人以上で持ち上げてください。
- ・ 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。

#### 壁掛け設置のしかた(例)

 本機を別売の壁掛け金具(AN-37AG3)を使って壁掛け設置 して使用することができます。 スタンドを取り付けている場合 は、必ず付属のスタンドをはず してください。(スタンドをはずす ▶ 170ページ)

## おしらせ

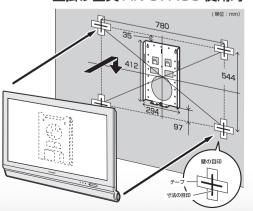
- 壁掛け金具 AN-37AG3 を取り付ける場合は、AN-37AG3 に付属のテレビ取付用ねじ® (M6、長さ12mm)をで使用ください。
- ・壁掛け金具 AN-37AG3 の壁用金具 を壁に取り付ける場合は、市販のねじ(径 6mm) をご使用ください。

#### 取り付け角度について

0度、5度、10度に設定してください。

- 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四 隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける
  - ・ 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
  - テープ類は跡が残らないものをご使用ください。
- 2 4箇所の目印から対角線を引き、その交点(テレビの中心となる位置)に目印を付ける
  - 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。
- 3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける
  - ・ 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。
- ①スタンドをはずす(▶ 170 ページ) ②壁掛け金具ユニットを液晶テレビに取り付ける
  - ③角度調整する場合は、テレビを壁に掛ける前に行う
  - ④壁に掛ける
  - 壁面の寸法の目印(テレビの四隅)を目安にして取り付けます。
  - 取付け角度を変更するときは、必ず液晶テレビを壁から取り外してください。
- 目印のテープ類を取り除く

#### 壁掛け金具 AN-37AG3 使用時



上記の方法はあくまで参考です。設置環境に合った方法で 取付設置を行ってください。